

仙台アセットマネジメント研究会 CRE(企業不動産) テーマに講演会 みちのくCRE研究会も発足

地元不動産などの有効活用策などを研究、実践するアセットブレインズ仙台ネットワーク(佐々木正之事務局長)は5月24日、「仙台アセットマネジメント研究会」の第78回例会を宮城県民会館内で開いた。

今回のテーマは企業内部統制、減損会計など企業の評価のあり方が激変する中で、企業が所有する不動産からみた企業価値を高めるCRE(企業不動産)戦略と、CREマネジメントについての講演を行った。

講師に(財)日本不動産研究所業務部副部長、小林信夫氏＝写真＝と齋木正人同企業資産評価プロジェクト室長を迎え講演。小林氏はCREの現状と今後について「日本の不動産



約2300兆円のうち法人所有不動産は約490兆円。企業内において不動産のあり方が重要視され具体的な取り組みが必要になる」とし、齋木氏は「企業が資産の保全を求められている今、単なる管理からマネジメントの時代になっている」とシステム構築方法などを具体的に述べた。

CREへの関心度は高く当日は100人を超す参加者となり、熱心に聞いていた。なお地元不動産におけるCRE戦略を研究、マネジメント推進を図るため「みちのくCRE研究会」も立ち上げた。